

Vol.63

心のふるさと

発行：社会福祉法人 多摩養育園 編集：広報紙編集委員会
〒192-0055 東京都八王子市八木町8-11 TEL 042-623-3388・FAX 042-623-3389
制作・印刷：株式会社 共同印刷所 ホームページ：http://www.tamayouikuen.net/

みんなの「生きる」を
社会福祉法人



SDGs

誰一人も取り残さない世界へ②

社会福祉法人 多摩養育園

理事長 足利正哲

この大木 樹齢 七十年程か

榎の里 ト山庭園の 大きな 枝垂桜である

今年 榎の里は 開設七十周年を迎えた

まだ 戦後間もない頃

寺で 保育所を開設した 創設者

戦災で 家がない 住家がない 帰還兵も 老人も

行き先がない 家族がない 何にもない

大勢の人が路頭でさまよっていた

収容先を頼まれた創設者は 養老院を建てた

都内から 次々に送り込まれてくる

あつという間に 二百人を超え

犬目に分院を建てた 現在の 竹の里である

近隣の人たちが 沢山応援してくれたと言っていた

父は当時 八木町から 自転車 ミニバイクで

榎原に通っていた

あれから時が過ぎ 二度の建て替え

建物を一つにして出来た この広い広場

この大樹は 母の背中のように

多くの子らを背負い 子らの知恵を育む

ト山禅師さま 創設者が 見守る中

子どもたちは きっと

皆に優しい人に 成長するだろう

令和2年度 事業報告

I. 重点項目

- (1) 中長期的な法人運営・施設経営計画を策定し、実践
- (2) 地域の大きな家構想の基、地域における公益的な取組みを推進
- (3) 魅力ある職場づくり、人材確保、定着、育成

II. 各部（室）事業報告

1. 管理部

- (1) 経営分析から課題、問題を提示、対応策を検討
改築・改修の資金計画策定と管理
- (2) 地域公益事業に伴う事業所、関係機関との連携及び調整
- (3) 適切な労務管理と職員処遇の改善、業務効率化

2. 企画室

- (1) 新規事業の立案と補助金の有効活用
- (2) 各拠点行事の内容及び進捗管理
- (3) 職員親睦のため、リモート行事の企画、開催

3. 地域連携室

- (1) 新型コロナウイルス感染予防対策 BCP 及び外来者の施設内立入りについての基本ルールを作成
- (2) 新型コロナウイルス危機管理対策本部より、「緊急事態宣言発令中」等のポスターを全施設に適宜掲示
- (3) 「特例措置有休取り扱いマニュアル」「職員濃厚接触者マニュアル」等の制定

4. 施設部

- (1) 今後の動向等を検討し、中長期計画を策定
- (2) 精華改築事業の入札不調による計画見直し
- (3) 感染症対策を講じての拠点事業の継続実施

5. 保育部

- (1) 社会情勢を見据えた事業の方向性を検討
- (2) SNS や郵便、電話を活用し、コロナ禍での子育て家庭を支援
- (3) 理念に基づいた保育の実践

令和2年度 決算報告

・決算内訳は社会福祉事業（特別養護老人ホーム2拠点・養護老人ホーム2拠点・救護施設1拠点・障害者支援施設1拠点・診療所3拠点・保育所11拠点）、公益事業（介護予防事業1拠点・包括的支援事業1拠点）、収益事業（駐車場経営1拠点）の合計23拠点の合算。
・現況報告書及び計算書類等は社会福祉法第59条に基づき、財務諸表等電子開示システムにて公開。

貸借対照表（令和3年3月31日現在）

単位：千円

資産の部						負債及び純資産の部					
科目	総計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引	科目	総計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引
流動資産	1,851,002	1,753,707	58,145	39,150	0	流動負債	828,982	780,092	48,870	0	0
固定資産	11,339,095	11,309,232	29,819	44	0	固定負債	1,851,383	1,836,927	14,456	0	0
（うち基本財産）	(8,814,521)	(8,814,521)	(0)	(0)	(0)	負債の部合計B	2,680,345	2,617,019	63,326	0	0
（うちその他の固定資産）	(4,524,573)	(4,494,710)	(29,819)	(44)	(0)	基本金	371,265	371,265	0	0	0
資産の部合計A	13,190,097	13,062,939	87,964	39,194	0	国庫補助等特別積立金	3,547,730	3,547,730	0	0	0
						その他の積立金	3,383,083	3,383,083	0	0	0
						次期繰越活動増減差額	3,207,674	3,143,842	24,638	39,194	0
						純資産の部合計C	10,509,752	10,445,920	24,638	39,194	0
						負債及び純資産の部合計B+C	13,190,097	13,062,939	87,964	39,194	0

資金収支計算書（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

単位：千円

科目	総計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引
事業活動収入計 ①	5,713,942	5,517,027	193,698	3,241	▲ 24
事業活動支出計 ②	5,174,617	4,986,508	187,381	752	▲ 24
事業活動資金収支差額 ①-②=③	539,325	530,519	6,317	2,489	0
施設整備等収入計 ④	61,401	61,202	199	0	0
施設整備等支出計 ⑤	182,394	172,503	9,891	0	0
施設整備等資金収支差額 ④-⑤=⑥	▲ 120,993	▲ 111,301	▲ 9,692	0	0
その他の活動収入計 ⑦	29,010	39,397	1,826	0	▲ 12,013
その他の活動支出計 ⑧	504,104	503,123	10,594	2,400	▲ 12,013
その他の活動資金収支差額 ⑦-⑧=⑨	▲ 475,094	▲ 463,726	▲ 8,968	▲ 2,400	0
当期資金収支差額合計 ③+⑥+⑨=⑩	▲ 56,762	▲ 44,508	▲ 12,343	89	0
前期末支払資金残高 ⑪	1,483,425	1,409,197	35,167	39,061	0
当期末支払資金残高 ⑩+⑪=⑫	1,426,663	1,364,689	22,824	39,150	0

事業活動収支計算書（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

単位：千円

科目	総計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引
サービス活動収益計 ①	5,653,059	5,458,881	193,453	2,749	▲ 24
サービス活動費用計 ②	5,462,820	5,267,136	194,956	752	▲ 24
サービス活動増減差額 ①-②=③	190,239	189,745	▲ 1,503	1,997	0
サービス活動外収益計 ④	61,767	61,030	246	491	0
サービス活動外費用計 ⑤	56,574	56,574	0	0	0
サービス活動外増減差額 ④-⑤=⑥	5,193	4,456	246	491	0
経常増減差額 ③+⑥=⑦	195,432	194,201	▲ 1,257	2,488	0
特別収益計 ⑧	62,040	74,440	785	0	▲ 13,185
特別費用計 ⑨	48,906	49,492	10,199	2,400	▲ 13,185
特別増減差額 ⑧-⑨=⑩	13,134	24,948	▲ 9,414	▲ 2,400	0
当期活動増減差額 ⑦+⑩=⑪	208,566	219,149	▲ 10,671	88	0
前期繰越活動増減差額 ⑫	3,471,006	3,396,591	35,309	39,106	0
当期末繰越活動増減差額 ⑪+⑫=⑬	3,679,572	3,615,740	24,638	39,194	0
その他の積立金取崩額 ⑭	0	0	0	0	0
その他の積立金積立額 ⑮	471,898	471,898	0	0	0
次期繰越活動増減差額 ⑬+⑭-⑮=⑯	3,207,674	3,143,842	24,638	39,194	0

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

未来のためにできること①



ダンボールコンポスト

ダンボール箱を利用して、生ごみを処理。給食で廃棄となる残食が堆肥へと生まれ変わる。堆肥はプランター野菜に使用。



エコの取り組みを日々の生活に生かす



「もったいない」について考える。私たちが生活の中にある沢山の「もったいない」ご飯粒を残したり、水の出しっぱなしや電気のつけっぱなし。私たちの生活の中にある沢山の「もったいない」について考える。



「もったいない」は今や世界の共通語

2015年9月に国連サミットで採択された国際目標SDGs。持続可能なよりよい未来を築くことを目標に、企業や自治体、そして一人一人に至るまで、全ての人の行動が求められています。令和3年4月より多摩養育園でも、園児、ご利用者様、職員、皆で連携し、「持続可能な開発目標」実現のために、一人一人が出来ることを考え、週間目標を掲げ取り組んでいます。今号より3回にわたり連載致します。

地域の大きな家

相談例 ※こちらの相談例は、実際の相談例をそのまま掲載したものではありません

中学3年の息子。いじめにあい学校に行けなくなって、家に引きこもっています。学校以外に相談できる場所はないでしょうか。

子ども家庭支援センター、教育センター、若者総合相談センターの情報をお伝えしました。

保育園だけど、介護の相談も出来るのかな？

父の様子が普段と違う...

ちょっと話を聞いてほしい



どんなことでもご相談ください

多摩養育園 福祉なんでも相談

令和3年4月1日「福祉なんでも相談」を開始。地域共生社会の実現をめざし、皆さんが安心して暮らすことができるように応援。業種には関係なくどんなことでも相談を受けています。より気軽に地域の方が利用して頂けるよう相談者の気持ちに寄り添い、ゆっくりとお話を聞きます中で、必要に応じて、各種の専門機関に繋ぎたいします。



トピックス

食を通して生命を学ぶ

多摩養育園

典座和尚誕生

精進料理の原点を次代へ継承



平成30年度より光明保育園で取り組んでいる精進料理。理事長のご縁により、元大本山總持寺典座であり、永昌院東堂であられます坪川民主老師を講師にお迎えし、精進料理を通して食への気持ち、命の尊さ、礼節等のご指導を頂いておりました。

この度、精進料理の原点を次代に継承していただくため「多摩養育園典座和尚」に改めてご就任頂きました。

令和3年度辞令交付式



新入職員 20 名を迎えリモートにて開催

3月30日



お花見会



満開の桜と美味しい食事 入居者様からは笑顔が

4月1日・3日



入園式



4月3日



288 名の新入園児を迎え新年度がスタート

新入職員研修



「多摩養育園発祥之地」にて

4月5日



初めての写経や坐禅を体験

花まつり



お釈迦様の生誕 甘茶をかけてお祝い

4月8日



雲龍寺境内を 白象パレード

創立記念日祝賀会



創立 74 周年を リモートで開催

4月16日



多摩養育園後援会役員会



4月21日



2 年ぶりに対面で

コロナワクチン接種開始



5月24日より 各施設で

児童書寄贈きたで文庫

きたでひろこ様のご執筆された児童書 660 冊をご寄贈いただきました。今後、きたで文庫として保育の充実に生かしてまいります。各園で貸し出しを行いますのでぜひ皆様もご利用下さい。



光明の保育「やりたい」が「できた」になるまで

やらされるのではなく、やりたいと思えるように。「明日はこれをやろう！」毎日、目的をもって保育園に来られるように。自分で「やりたい」と思ったことだから。出来なくても、何度も挑戦。すぐに教えるのではなく、急がすのではなく。私たちは、子どもの自立的な「育ち」を見守り、支える。それが私たち光明の保育です。

異年齢での学び

相手の思いに気づき、受けとめ、受け入れる。また、受け入れてもらえる。そんな経験が「他者を思いやる気持ち」につながる。そして、互いに刺激を受けながら成長する。



思考力の芽生え

どうやって自分のしたいことをなし遂げるか、子どもなりに姿が違う。子どもの力を信じ見守ることので力を発揮。見て学び、覚えたことを子どもなりに実行する力が育っていることに気付かされる。

寄り添う支援 自然と笑顔があふれる

日々、ゆつくりと過ぎていく時の中、小さな変化や何気ない会話が自然と笑顔につながる。入居者様や職員の笑顔は、生活の活力に。その方らしく暮らしていただくために入居者様お一人おひとりの思いに寄り添います。

「私はいちごを育てたい」

いちごの収穫を楽しみに、車いすで水やりを始めたTさん。いちごはすぐには育たず途中で水やりをやめてしまいました。でも、Tさんの喜ぶ顔が見たくて職員はこっそり育て続け、いよいよ収穫。職員が育てていたことにびっくりしたTさん。いちごを摘んで大好きなヨーグルトと一緒に「美味しいね」と大満足。「次はトマトを育てたい!」と、Tさんのお部屋から見える場所に一緒にトマトを植え、今はぐんぐん生長する様子を毎日見守っています。



廃用症候群

長期間過度の安静は身体能力の大幅な低下や精神状態に悪影響を及ぼす。この症状の総称が廃用症候群。つまり、「動かない」

健康の豆知識

が「動けない」を招くということ。さらに動けないことが気分の落ち込みへとつながり、うつ傾向の誘因となるだけでなく認知機能の低下にも関係する。高齢者は特に進行が速い。動く機会をつくり、専門職による適切なリハビリテーションおよび栄養管理などで元気で前向きな生活を送りましょう。



介護予防
体操はこ
ちらから

連載

八王子の名僧

ト山ぼくざん ②0

『入滅』

寛永三(一六二六)年一〇月五日、ト山師、病を発症。師を慕い敬う人たちが、大勢、四方から集まり、見舞いに訪れた。それでも病が小康のときは、部屋を開き、人々と交わり、教えを説くことがあった。

一〇月二六日、師は沐浴浄髪し、夜半、侍僧に衣服を改めさせ、抱き起こしてもらって、坐定した。

この時、寺の鐘が鳴らされ、衆徒が集められた。師、臨終の瞬間であった。師は言われた。「先師(玉田存麟師)は、この日、この時、涅槃に入られた。吾もこれに従う」。

そして筆を取りよせ、偈(詩)を書き記した。「世の凡聖を罵り、責め立てて一二〇年、今の労苦、ここに襲い、我が身は矢のような速さで地獄に堕ちこんでいく。」師は書き終えて、筆を投げ、病からさっぱりと解放されて、抜け殻のようになって示寂されました。寿百二〇年。遺偈に書かれた、「この労苦」、それは、ト山示寂数十年後に、現われた良寛和尚の、周囲との軌轍の日々、これに通ずる禅僧の姿である。

ト山師は、「世の凡聖を罵る」経緯を、自署『遺誠』(一六二五年)にくわしく記している。ここに、私たちは、偉大な禅僧の気概を見ることができ、この見るという想いは、ト山の精神を甦生させることである。甦生は、私たちの責務である。

文 AM生



宗関寺

新入職員

輝く姿



新入職員より
 まだまだ自分の力不足を痛感する毎日。日々反省しながらも、子どもの成長を見守り、これからも楽しみながら、自分自身も成長していきたいです。頑張ります。

ありがとう八木町のおかあさん



八王子市八木町の「富士屋」の山口つや子様のご逝去されました。富士屋といえは八木町のプラザ。創設者の代から利用させて頂きみんなのやすらぎの場として思い出がたくさんあります。光明第一保育園のボランティアとして、ご活躍いただき、子ども達への思いと温かい眼差しが忘れられません。天国から見守っていてくださいね。

新役員・評議員・顧問紹介

新役員・評議員・顧問が選任されましたのでご報告致します。新体制で更なる事業発展に取り組んで参りますので、ご支援賜りますようお願い致します。

- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 理事長 | 足利 正哲 | 評議員 | 小野 嵩 |
| 理事 | 須崎智佳子 | 評議員 | 菊谷 文男 |
| 理事 | 山上 有香 | 評議員 | 高橋みさ子 |
| 理事 | 上野 秀子 | 評議員 | 塚本主恵夫 |
| 理事 | 鈴木 玲子 | 評議員 | 土井 俊彦 |
| 理事 | 露口 長 | 評議員 | 渡辺 宏幸 |
| 理事 | 水野 淳 | 評議員 | 柳井 えり |
| 監事 | 佐藤 剛 | 評議員 | 鈴木 玲央 |
| 監事 | 重田 明子 | | |
| 顧問 | 青山 侑 | | |
| 顧問 | 波多野重雄 | | |
- 任期令和3年6月18日(令和5年)
- 任期令和3年6月18日(令和7年)



ご芳情・ボランティアは10月号・4月号に掲載させていただきます。

題字・表紙写真 足利正哲

編集後記

コロナ禍で外出する機会が少なくなりなかなか季節を感じる事が難しくなった今日この頃。季節に対するアンテナが鈍化しているようにも感じます。

今年度「心のふるさと」は年4回発行します。皆さんと共に前進できるような旬な話題をお届け致します。

広報紙編集委員会